

初期の学会名簿について

KOTONOHA 編集室

故長田夏樹氏旧蔵の諸資料の中に、各種学会の初期の名簿がある。手書きガリ版刷りの名簿である。このたび長田家よりご提供いただいたので古代文字資料館で管理することとした。古いものとはいえ、個人情報にかかわる部分は、インターネット上で公開するわけにはいかないが、研究史の資料となるので、その存在については、お知らせすることとした。管理している名簿は次の6種である。なお新旧の字体は資料のとおりとした。

① 中文學會名簿 昭和二十三年一月現在

(事務所) 東京都文京区小石川町一ノ一 中華民國孝友会館

- ・備考 1～2
- ・第一部 (A) 78名の会員の情報を、アイウエオ順に、氏名・勤務先・住所の順に記す。
- ・第二部 (B) 86名の会員の情報を、アイウエオ順に、氏名・在校先・住所の順に記す。  
※第一部が教員中心、第二部が学生である。

② 日本中國學會會員名簿 昭和二十五年(八月一日現在) 日本中國學會

本部所在地 東京都文京区湯島二丁目一番地 湯島聖堂内 日本中国学会

- ・日本中国學會々則 第一條～第十五條 附則一、二
- ・役員 理事長 加藤常賢  
理事 北海道1名、東北1名、関東6名、中部2名、近畿3名、中国・四国1名、九州1名  
評議員 北海道2名、東北3名、関東15名、中部3名、近畿9名、中国・四国3名、九州3名  
委員 1名  
専門委員 4名、経学2名、語学3名、文学2名、思想3名
- ・会員 北海道地区より九州地区まで地域別に、氏名・学校・住所の順に記す。

③ 日本中国学会々員名簿 昭和二十七年十二月一日現在

本部所在地 東京都文京区湯島二丁目一番地 湯島聖堂内 日本中國学会

- ・日本中國学会々則 第一條～第十五條 附則一、二
- ・役員 理事長 加藤常賢  
理事 北海道1名、東北1名、関東5名、中部2名、近畿3名、中国・四国1名、九州1名

評議員 北海道2名、東北18名（東北と関東が混じているか）、中部3名、  
近畿9名、中国・四国3名、九州3名

専門委員 20名

- ・会員 北海道地区より九州地区まで地域別に、氏名・住所・勤務先の順に記す。

④中国語学研究会会員名簿 1952 中国語学研究会

- ・会員の情報を、あいうえお順に、氏名・勤務先・住所の順に記す。

⑤中国語学研究会会員名簿 (1954.10. 現在) 中国語学研究会

- ・中国語学研究会々則 第一條～第八條 附則一、二

- ・役員名簿 会長 倉石武四郎

委員 北海道支部1名、東北支部1名、関東支部6名、東海支部1名、北  
陸支部1名、近畿支部6名、中国・四国支部1名、九州支部1名

- ・会員の情報を、あいうえお順に、氏名・勤務先・住所の順に記す。

- ・大学別名簿 東北大学文学部3名、東京大学文学部中国哲文学教室4名、東京大学教  
養学部2名、東京都立大学人文学部4名、東京教育大学2名、東京外国  
語大学3名、早稲田大学第一法学部8名、国会図書館中国資料室1名  
+中国資料室、南山大学3名、金澤大学5名、京都大学文学部7名、京  
都大学吉田分校2名、京都大学人文科学研究所5名、大阪市立大学文学  
部6名、大阪外国語大学 大阪市4名、大阪外国語大学 高槻市2名、天  
理大学9名、神戸外国語大学5名、広島大学漢文学研究室4名、北九州  
外国語大学3名

⑥中国語学研究会 会員名簿 1962年10月現在 中国語学研究会刊

- ・中国語学研究会会則 第1条～第8条 附則1、2

- ・会員の情報を、あいうえお順に、氏名・勤務先・住所の順に記す。